

2011年

5月21日 [土] ~ 7月3日 [日]

開館時間：午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）

休館日：毎週月曜日

入館料：一般400円、65歳以上・高大生300円

中学生以下、障がい者手帳をお持ちのかたとその介助者1名は無料
20名様以上の団体は2割引き

河内のムラの物語

平成23年度大阪府立弥生文化博物館春季企画展

池島・福万寺遺跡の3500年



河内のムラの物語

池島・福万寺遺跡の3500年



縄文土器（縄文時代前期）



大形水筒の足あと（弥生時代前期）



文字を書いた土師器（平安時代）



土鏡（縄文時代前期）



高形土製品（古墳時代前期）



板垣柵（平安時代）



弥生土器（弥生時代前期）



アタセサラー（古墳時代中期～後期）



イノシシ（室町時代）

大阪、八尾市から東大阪市にひろがる池島・福万寺遺跡は、洪水から大阪のまちを守るための治水緑地の工事とともに、発掘調査が進められてきました。その調査がはじまってから、2011年でちょうど30年。空前の規模で調査が継続した池島・福万寺遺跡は、いまや、日本の水田の歴史を語る代表的な遺跡です。

河内のムラ、池島・福万寺遺跡では、3500年前の縄文時代後期の人が使った土器にはじまり、弥生時代・古墳時代のムラや水田、奈良時代から現代につづく水田など、河内に住んだ人びとが作ったもの、使ったものがたくさんみつかっています。

また、いろいろ科学的な分析をすることで、河内の人が食べたものや作物、一緒にいた犬など、河内の人が目にしてきた自然や環境もわかってきました。

今回の展示では、30年間の発掘調査でみつかったもの、わかったことをまとめてご紹介します。大阪、河内の3500年をいっしょにタイムトラベルしましょう！

第1回考古学セミナー

5月22日（日）

「弥生のムラの物語」公益財団法人大阪府文化財センター 三宮昌弘
「古墳のムラの物語」大阪府立近つ飛鳥博物館 森本 徹

第2回考古学セミナー

6月11日（土）

「ムラの地形の変化」公益財団法人大阪府文化財センター 井上智博
「ムラの環境の変化」パリオ・サーヴェイ株式会社 辻本裕也

第3回考古学セミナー

6月25日（土）

「ムラの祈り」奈良大学名誉教授 水野正好

時間 午後2時～4時

場所 大阪府立弥生文化博物館1階ホール

定員 170名（当日先着順 午後0時30分から整理券配布・午後1時30分から受付）

参加費 無料（ただし入館料が必要です）

学芸員による展示解説

5月22日（日）／6月11日（土）／6月25日（土）

時間 午前11時～（約1時間）

場所 大阪府立弥生文化博物館特別展示室（展示会場）

参加費 無料（ただし入館料が必要です）

アクセス

JR 阪和線「信太山」駅下車西へ約600m
南海本線「松ノ浜」駅下車東へ約1,500m

【大阪方面からお越しの場合】
JR 天王寺駅から和歌山方面行（阪和線）快速電車にご乗車になり、萬住駅で普通電車にお乗り換えください。
大阪駅からお越しの場合は、「関空・紀州路快速」をご利用になると便利です。
萬から3駅目が信太山（北駅）駅です。

国道26号「池上町」交差点南西角
P普通車72台（無料）



大阪府立弥生文化博物館
Museum of Yayoi Culture

〒594-0083 大阪府和泉市池上町4丁目8-27

TEL.0725-46-2162 <http://www.kanku-city.or.jp/yayoi/>

次回予告

第2回大阪・滋賀博物館連携企画「銅鐸を探る」

大阪府立弥生文化博物館平成23年度夏季特別展「豊饒をもたらす響き 銅鐸」

会場：大阪府立弥生文化博物館 会期：7月16日（土）～9月11日（日）

<開催中>

滋賀県立安土城考古博物館春季特別展「大岩山銅鐸から見えてくるもの」

会場：滋賀県立安土城考古博物館 会期：4月23日（土）～6月12日（日）